

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
アカボシゴマダラ	タテハチョウ科	後羽の紅紋 特定外来生物 (中国起源)	○	○	◎	奄美大島 関東全域

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草		○ 食樹		発生回数/年				越冬形態			
エノキ				4				幼虫			



川崎市 9月20日 (2009年) 生田緑地、初見での撮影



川崎市 7月28日 (2017年) あちこちに飛んでいる



アメリカザリガニ 生田緑地「ホタルの里」6月下旬
これは、いくらなんでもまず過ぎる！「侵略的外来種ワースト100」にも入選 (日本生態学会)。昭和初期にアメリカより食用ガエルの餌用に鎌倉に持ち込まれ池に放たれた20匹が逃げ出してから増えたらしい・・・



ガビチョウ 生田緑地 5月末 ウグイスと競って大声で鳴く。もともとは中国でさえずりが好まれた家禽で、日本に輸入されたが、日本人にはうるさすぎることから遺棄され、結局野生化したらしい。「侵略的外来種ワースト100」にも入選 (日本生態学会)

もともと国内では奄美大島周辺にしかいなかった蝶ですが2006年に東京都、2010年以降は関東全域で分布拡大し、生田緑地でもこの10年で急速に増えました。温暖化が原因でなく、蝶マニアが中国産の蝶を持ち込み放したのが発端と考えられています。生田緑地で同じエノキを食するゴマダラチョウ (少なくなった)、或いはヒオドシチョウ (最近見ない) などと競合し駆逐してしまう恐れもあります。

環境省では問題を引き起こす海外起源の外来生物を「特定外来生物」として指定し、その飼養、輸入などを規制し、防除を行うこととしていますが、アカボシゴマダラ (奄美産を除く) も指定されています。生田緑地でよく見かけるアメリカザリガニ、ガビチョウ (鳥) も特定外来生物です。



川崎市
11月13日（2010年）
ハイムのエノキにも幼虫
を発見
↓



川崎市 5月26日（2019年）時折、白化したタイプが出る



← 多摩川土手（中野島）
9月30日（2022年）

土手下の林の中でもつれあう

↓ 八王子市
8月1日（2021年）
山頂でテリトリーを張る♂

